

第 10 回通常総会資料

令和 4 年 5 月 17 日

一般社団法人日本リゾートクラブ協会

第 1 号 議 案

令和 3 年度事業報告書

(令和 3 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日)

令和 3 年度の当協会の事業等について報告いたします。

1 会員の状況

正会員 12社 (前年度末比-1社) ㈱エンゼル
賛助会員 25社 (前年度末比-2社) ㈱ヴィラ北軽井沢 (㈱リプロ)

2 理事会・総会の開催

- 1 例年であれば、5月中に第1回理事会を開催すべきところでしたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、本理事会を定款 34 条 2 項の規定により書面決議としました。(令和 3 年 5 月 19 日発信)
理事会議題 ①令和 2 年度事業報告並びに収支決算報告承認の件
②令和 3 年度事業計画並びに収支予算審議承認の件
③第 9 回通常総会を書面決議とする件
- 2 第 9 回通常総会の開催も例年 5 月中に開催すべきところでしたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、本通常総会を定款 19 条 3 項の規定により書面決議としました。(一般社団法人及び一般財団法人に関する法律 58 条・令和 3 年 5 月 28 日発信)
総会議題 ①令和 2 年度事業報告並びに収支決算報告承認の件
②令和 3 年度事業計画並びに収支予算審議承認の件
- 3 令和 3 年度第 2 回理事会を令和 4 年 1 月 27 日 (木) に開催する旨の案内をしておりましたが、1 月に入ってから新型コロナウイルス (オミクロン株) の感染が急拡大したため、急遽本理事会を定款 34 条 2 項の規定により書面決議としました。(令和 4 年 1 月 27 日発信)
理事会議題 ①令和 3 年度 12 月末迄の事業報告並びに収支状況報告の件
②新年度役員改選のため、役員人事方針等につき協議の件
③新年度事業計画大綱検討の件
④新会員入会の件 (㈱ヴィラ北軽井沢)

なお、同時に開催予定の新年賀詞交歓会も中止とし、平成 4 年 5 月開催予定の総会時に懇親パーティを開催することとしました。

3 協会の各種事業について

(1) 調査研究事業

1 国内リゾートの歴史・風土・文化財及びそのエピソード等についての調査

前年度は、10月20日～22日に關日本ハウスリゾート倶楽部の「ホテル森の風・那須」と「ホテル四季の館・那須」に宿泊し見学をしました。その後の新型コロナウイルスの感染拡大の影響で作業が大幅に遅れ、さらに再調査の必要もあり、本年7月に那須町の歴史館の訪問調査を実施しました。苦心の末、やっと令和4年1月にホームページ掲載にこぎつけました。今年度の調査は、今後の新型コロナウイルスの感染状況や諸事情を勘案の上実施するかどうか決めたいと思います。

2 タイムシェア研究会の開催

今年度も、開催できませんでした。

(2) 研修会・セミナー事業

1 スタッフキャリアアップ研修講演会

今年度も、昨年度に引き続き開催できませんでした。

2 支配人・管理者研修会

対面で開催することに意義がある研修会であり、今年度も開催できませんでした。

(3) 情報の収集と提供事業

1 ホームページによる情報提供について

イ ホームページの更新

ホームページのアクセス数を上げるため、協会内のできごと、共催イベントのご案内、研究会の報告や常務理事の訪問先の調査・研究紀行文等ホームページ情報を大谷理事中心に随時更新してきました。さらに8年前から「クラブライフのご提案」として、協会加盟会社のホテル訪問の調査研究資料を大谷理事に執筆をお願いし、ホームページに掲載しております。又、消費者相談室から、悪質な業者情報について、随時お知らせすることとされていますが、今年度は特に情報はありませんでした。

ロ 協会ホームページへのアクセス数

新ホームページをアップロードしてから約8年経過しましたが、統計対象サイト上ではデータが消滅して把握できておりません。ホームページ上のアクセス数では、約16万5千回（前年度比+14千回）となりました。

更新頻度が少なかったため、大幅な増加はありませんでした。

2 クラブとの共催イベントの実施

新型コロナウイルスの感染拡大により、イベントを開催するクラブもなく実施できませんでした。

3 その他

- ・毎年恒例ですが、公益財団法人日本生産性本部よりレジャー白書についてのヒアリングに対して情報提供を行いました。
- ・公益財団法人日本広告審査機構（JARO）より機関誌の「各地だより」というコラムに寄稿を依頼されました。協会のPR活動の一環として応諾し、それが「見知らぬ女を訪ねてロシアへ」という表題で10月号に掲載されました。

(4) リゾネット事業

本年度のリゾネット参加施設は13社、国内29施設（前年度比-2）でスタート。前期末にパンフレット20,000部（前年度比+1,000部）を配布済。

本年度のリゾネット利用者数（受人ベース）

4月	59	8月	435	12月	152
5月	156	9月	136	1月	110
6月	54	10月	236	2月	82
7月	179	11月	231	3月	129

本年度の利用者数合計 1,959名（前年度比 +67.0%）

前年度利用者数合計 1,173名

利用実績は昨年度を上回っているものの、新型コロナウイルスの感染が続いた影響により、例年より約30%下回っております。

こんな中でも、現状で送客の多いクラブは、セラヴィリゾート泉郷が大きく他を引き離してトップ、次いで鴨川リゾートクラブ、紀鉄クラブ。受入の多い施設は、断トツでヴィジ北軽井沢エルウィングです。

(5) 消費者相談事業

取扱件数、内容は別紙のとおりで、大幅に減少しています。

今年度の特徴としては、相変わらず会員権の処分についての相談が寄せられています。それに対応する悪質業者の情報は少なくなりましたが、また会社の名前を変えて続いており、注意が必要です。正会員や賛助会員企業から、単発的に危なそうな会社の情報があり、その都度会員企業責任者に注意喚起を実施しました。一般消費者に対しては、現状では、注意喚起情報の発信はありません。

4 その他の事項

5月10日（月）令和2年度の会計監査（佐藤監事・枋本監事）を実施。

6月12日（金）内閣府公益認定等委員会へ「令和2年度の事業報告、収支決算報告、令和3年度の事業計画、収支予算」をネットにて提出。

10月14日（水）本年度上期の会計監査（佐藤監事）を実施。

以上

令和3年度消費者相談室取扱状況

(一社)日本リゾートクラブ協会

消費者相談室

1. 取扱件数	令和2年度	令和3年度	前年比増減
相談・問い合わせ	63	40	-23
苦情	0	0	0
合 計	63	40	-23

2. 相談問い合わせの内訳	令和2年度	令和3年度	前年比増減
協会の案内・資料請求など	11	8	-3
会員権の売却検討	6	12	6
会員権の購入検討	16	0	-16
加盟会社の問い合わせ	11	12	1
非加盟会社の問い合わせ	8	2	-6
事業化相談・業界調査	8	3	-5
その他	3	3	0
合 計	63	40	-23

3. 苦情の内訳	令和2年度	令和3年度	前年比増減
個 人	0	0	0
法 人	0	0	0
預託制	0	0	0
共有制	0	0	0
その他システム	0	0	0
会員権仲介取引	0	0	0
勧 誘	0	0	0
契 約	0	0	0
解約・預託金返還	0	0	0
利用・料金	0	0	0
その他	0	0	0
会員権仲介取引	0	0	0

消費者センターからの相談・問合せ 4件

メディカル&リゾートソリューション関係 0件

第 9 期 決 算 報 告 書

自 令和 3 年 4 月 1 日
至 令和 4 年 3 月 31 日

東京都渋谷区代々木 4 丁目 36 番 19 号
リゾートトラスト東京ビル 3 階

一般社団法人日本リゾートクラブ協会

会 長 伊 藤 興 朗

令和3年度収支計算書

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

単位:円

	科目	予算額	決算額	差異
収入の部	1.入会金収入	150,000	0	150,000
	正会員入会金	100,000	0	100,000
	賛助会員入会金	50,000	0	50,000
	2.会費収入	5,450,000	5,220,000	230,000
	正会員会費	2,600,000	2,520,000	80,000
	賛助会員会費	2,850,000	2,700,000	150,000
	3.事業収入	1,780,000	779,410	1,000,590
	調査・研究事業	0	0	0
	研修会・セミナー事業	500,000	0	500,000
	情報収集・提供事業	500,000	0	500,000
	倫理審査事業	0	0	0
	相互利用事業	780,000	779,410	590
	消費者相談事業	0	0	0
	4.その他収入	500	271	229
	受取利息	500	271	229
	雑収入	0	0	0
5.公益事業推進基金より	1,817,600	1,817,655	△ 55	
	収入合計	9,198,100	7,817,336	1,380,764

単位:円

	科目	予算額	決算額	差異
支 出 の 部	1.事業費	6,190,000	4,853,927	1,336,073
	調査・研究事業	1,500,000	1,285,668	214,332
	研修会・セミナー事業	1,000,000	490,993	509,007
	情報収集・提供事業	1,800,000	1,282,499	517,501
	倫理審査事業	0	0	0
	相互利用事業	1,400,000	1,310,993	89,007
	消費者相談事業	490,000	483,774	6,226
	2.管理費	2,729,000	1,853,689	875,311
	給与・手当	1,080,000	1,080,000	0
	法定福利費	0	0	0
	会議費	350,000	0	350,000
	旅費交通費	250,000	89,892	160,108
	通信費	35,000	35,000	0
	備品費	20,000	0	20,000
	消耗品費	60,000	40,527	19,473
	印刷費	5,000	0	5,000
	新聞図書費	5,000	0	5,000
	水道光熱費	14,000	9,988	4,012
	賃借料	330,000	327,140	2,860
	支払手数料	160,000	88,506	71,494
	諸謝費	0	0	0
	租税公課	70,000	70,000	0
	情報交流費	50,000	10,624	39,376
	諸雑費	300,000	102,012	197,988
	3.予備費	200,000	0	200,000
	4.公益事業推進基金	0	0	0
支出合計	9,119,000	6,707,616	2,411,384	
	当期収支差額	79,100	1,109,720	△ 1,030,620
	前期繰越収支差額	13,630,952	13,630,952	0
	次期繰越収支差額	13,710,052	14,740,672	△ 1,030,620

令和3年度正味財産増減計算書（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

I 一般正味財産増減の部

科 目		当 年 度	前 年 度	増 減
大 科 目	中 科 目			
【経常収益】				
受取入会金		0	50,000	△ 50,000
	正 会 員	0	0	0
	賛 助 会 員	0	50,000	△ 50,000
受 取 会 費		5,220,000	7,831,666	△ 2,611,666
	正 会 員	2,520,000	5,040,000	△ 2,520,000
	賛 助 会 員	2,700,000	2,791,666	△ 91,666
事 業 収 益		779,410	807,413	△ 28,003
	調 査・研 究	0	0	0
	研 修 会・セ ミ ナ ー	0	0	0
	情 報 収 集・提 供	0	0	0
	倫 理 審 査	0	0	0
	相 互 利 用	779,410	807,413	△ 28,003
	消 費 者 相 談	0	0	0
雑 収 益		271	442	△ 171
	受 取 利 息	271	442	△ 171
	雑 収 入	0	0	0
経常収益計		5,999,681	8,689,521	△ 2,689,840
【経常費用】				
事 業 費		4,853,927	5,371,891	△ 517,964
	調 査・研 究	1,285,668	1,322,715	△ 37,047
	研 修 会・セ ミ ナ ー	490,993	504,249	△ 13,256
	情 報 収 集・提 供	1,282,499	1,734,635	△ 452,136
	倫 理 審 査	0	0	0
	相 互 利 用	1,310,993	1,315,352	△ 4,359
	消 費 者 相 談	483,774	494,940	△ 11,166
管 理 費		1,853,689	2,100,745	△ 247,056
	給 与・手 当	1,080,000	1,080,000	0
	法 定 福 利 費	0	33,163	△ 33,163
	会 議 費	0	299,475	△ 299,475
	旅 費 交 通 費	89,892	65,183	24,709
	通 信 費	35,000	16,800	18,200
	備 品 費	0	0	0
	消 耗 品 費	40,527	32,223	8,304
	印 刷 費	0	0	0
	新 聞 図 書 費	0	0	0
	水 道 光 熱 費	9,988	9,672	316
	貸 借 料	327,140	327,140	0
	支 払 手 数 料	88,506	110,057	△ 21,551
	諸 謝 費	0	0	0
	租 税 公 課	70,000	70,000	0
	情 報 交 流 費	10,624	0	10,624
	諸 会 費	0	0	0
	諸 雑 費	102,012	57,032	44,980
経常費用計		6,707,616	7,472,636	△ 765,020
当期経常増減額		△ 707,935	1,216,885	△ 1,924,820
当期経常外増減額		0	0	0
当期一般正味財産増減額		△ 707,935	1,216,885	△ 1,924,820
一般正味財産期首残高		17,766,686	16,549,801	1,216,885
一般正味財産期末残高		17,058,751	17,766,686	△ 707,935

II 指定正味財産増減の部

当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0

III 正味財産期末残高	17,058,751	17,766,686	△ 707,935
--------------	------------	------------	-----------

令和3年度正味財産計算書（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

I 一般正味財産増減の部

科 目		当 年 度	前 年 度	増 減
大 科 目	中 科 目			
【経常収益】				
受取入会金		0	50,000	△ 50,000
	正 会 員	0	0	0
	賛 助 会 員	0	50,000	△ 50,000
受取会費		5,220,000	7,831,666	△ 2,611,666
	正 会 員	2,520,000	5,040,000	△ 2,520,000
	賛 助 会 員	2,700,000	2,791,666	△ 91,666
事業収益		779,410	807,413	△ 28,003
	調 査・研 究	0	0	0
	研 修 会・セ ミ ナ	0	0	0
	情 報 収 集・提 供	0	0	0
	倫 理 審 査	0	0	0
	相 互 利 用	779,410	807,413	△ 28,003
	消 費 者 相 談	0	0	0
雑 収 益		271	442	△ 171
	受 取 利 息	271	442	△ 171
	雑 収 入	0	0	0
経常収益計		5,999,681	8,689,521	△ 2,689,840
				0
【経常費用】				
事業費		4,853,927	5,371,891	△ 517,964
	給与手当	2,520,000	2,520,000	0
	法定福利費	0	77,381	△ 77,381
	旅費交通費	363,852	595,149	△ 231,297
	通信費	161,686	160,226	1,460
	備品費	0	5,253	△ 5,253
	消耗品費	18,536	26,902	△ 8,366
	会議費	94,765	350,993	△ 256,228
	印刷費	820,000	811,103	8,897
	水道光熱費	23,308	22,569	739
	賃借料	749,540	749,540	0
	諸謝費	0	0	0
	諸雑費	102,240	52,775	49,465
管理費		1,853,689	2,100,745	△ 247,056
	給与・手 当	1,080,000	1,080,000	0
	法定福利費	0	33,163	△ 33,163
	会 議 費	0	299,475	△ 299,475
	旅費交通費	89,892	65,183	24,709
	通 信 費	35,000	16,800	18,200
	備 品 費	0	0	0
	消 耗 品 費	40,527	32,223	8,304
	印 刷 費	0	0	0
	新聞図書費	0	0	0
	水道光熱費	9,988	9,672	316
	賃 借 料	327,140	327,140	0
	支払手数料	88,506	110,057	△ 21,551
	諸 謝 費	0	0	0
	租 税 公 課	70,000	70,000	0
	情報交流費	10,624	0	10,624
	諸 会 費	0	0	0
	諸 雑 費	102,012	57,032	44,980
予備費		0	0	0
経常費用計		6,707,616	7,472,636	△ 765,020
経常増減額		△ 707,935	1,216,885	△ 1,924,820
経常外増減額		0	0	0
一般正味財産増減額		△ 707,935	1,216,885	△ 1,924,820
一般正味財産期首残高		17,766,686	16,549,801	1,216,885
一般正味財産期末残高		17,058,751	17,766,686	△ 707,935

II 指定正味財産増減の部

当期指定正味財産増減額		0	0	0
指定正味財産期首残高		0	0	0
指定正味財産期末残高		0	0	0
				0
III 正味財産期末残高		17,058,751	17,766,686	△ 707,935

貸借対照表

(令和4年3月31日)

単位:円

	勘定科目		当年度	前年度	増減
	大科目	中科目			
資産 の 部	流動資産	現金	68,882	112,658	△ 43,776
		普通預金	5,374,876	5,341,385	33,491
		定期預金	11,000,000	11,000,000	0
		未収金	-	-	0
	流動資産合計		16,443,758	16,454,043	△ 10,285
	特定資産	公益事業 推進基金	2,245,279	4,062,934	△ 1,817,655
		特定資産合計	2,245,279	4,062,934	△ 1,817,655
	その他の固定資産	電話加入権	72,800	72,800	0
		その他の固定資産 合計	72,800	72,800	0
	固定資産合計		2,318,079	4,135,734	△ 1,817,655
資産合計		18,761,837	20,589,777	△ 1,827,940	
負債 の 部	流動負債	預り金	1,703,086	2,823,091	△ 1,120,005
		未払金	0	0	0
	流動負債合計		1,703,086	2,823,091	△ 1,120,005
正味財産 の 部	正味財産	正味財産	17,058,751	17,766,686	△ 707,935
	正味財産合計		17,058,751	17,766,686	△ 707,935
負債及び正味財産合計		18,761,837	20,589,777	△ 1,827,940	

財 産 目 録

(令和4年3月31日)

単位:円

	勘定科目		金額	摘要
	大科目	中科目		
資産の部	流動資産	現金	68,882	手許現金
		普通預金	5,374,876	三菱UFJ銀行・新宿中央支店
		定期預金	11,000,000	三菱UFJ銀行・新宿中央支店
	流動資産合計		16,443,758	
	特定資産	公益事業推進基金	2,245,279	定期預金(三菱UFJ銀行・新宿中央支店)
	その他の固定資産	電話加入権	72,800	電話加入権
固定資産合計		2,318,079		
資産の合計		18,761,837		
負債の部	流動負債	預り金	1,703,086	次年度会費他
	流動負債合計		1,703,086	
	負債の合計		1,703,086	
正味財産		17,058,751		

計算書類に対する注記

特定資産の増減額及びその残高(令和4年3月31日)

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産 公益事業推進基金	4,062,934	0	1,817,655	2,245,279
合 計	4,062,934	0	1,817,655	2,245,279

令和4年 4月 22日

監 査 報 告 書

一般社団法人日本リゾートクラブ協会

監事 佐藤 茂 

監事 柄本 雅尚 

第9期事業年度の事業報告、計算書類、これらの附属明細書、公益目的支出計画実施報告書その他理事の職務執行の監査について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

監事間の協議により、監査方針を定めた上で、監事 佐藤 茂は会計帳簿の分野を中心に、監事 柄本 雅尚は法人業務の分野を中心に調査を行い、その結果を監事間で協議して監査を実施しました。

具体的には、理事会その他の重要な会議に出席し、会計帳簿、会計書類、重要な決裁文書及び報告書を閲覧し、当法人の理事等から職務の執行状況等について定期的に報告を受け、また随時説明を求めました。

2 監査の結果

- (1) 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当法人の状況を正しく表示しています。
- (2) 理事の職務の遂行に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。
- (3) 当法人の業務の適正を確保するために必要な体制の整備等についての理事会の決議は相当です。
- (4) 計算書類とその附属明細書は、当法人の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適正に表示しています。
- (5) 公益目的支出計画実施報告書は、法令及び定款に従い、当法人の公益目的支出計画の実施状況を正しく表示しています。

以上

第 2 号 議 案

理事・監事任期到来による新理事・監事選任の件

令 和 4 年 度 役 員 人 事 (案)

(敬称略)

役名	旧	新	所属・役職	備考
代表理事 (会 長)	伊藤 與朗	伊藤 勝康	リゾ・トラスター 代表取締役会長	新任
〃 (副会長)	鈴木 健史	〃	㈱鴨川リゾートホテル 代表取締役社長	重任
理 事 (常務理事)	今泉 陽一	〃	事務局長	〃
〃	大谷 毅	〃	信州大学 名誉教授	〃
〃	中川 源行	〃	紀州鉄道㈱ 代表取締役社長	〃
〃	富 道雄	〃	㈱グレイムツアーズ 取締役副会長	〃
〃	小西 滋	浜口 憲一	㈱セウエイリゾート泉郷 代表取締役社長	新任
監 事	佐藤 茂	〃	佐藤公認会計士事務所 公認会計士・税理士	重任
〃	枋本 雅尚	〃	㈱萬代 代表取締役	〃

(注1) 伊藤與朗氏は今後も名誉会長として、協会に対しご指導を賜ります。

(注2) 小西滋理事は、令和3年11月15日付で辞任届が提出され、すでに退任済みです。

第 3 号 議 案

理事会互選により決定した会長、副会長、常務理事を総会にて報告

第 4 号 議 案

令 和 4 年 度 事 業 計 画 書

昨年の世界の状況も、現状新型コロナウイルスの感染拡大のニュース一色でした。昨年後半より感染力が強いとされるオミクロン株の拡散により、一時小康状態を保っていたものの、再拡散し始めました。また、さらに今年に入ってからオミクロン株の変異株・BA.2という種類のウイルスが拡大し始め、さらなる注意が必要と言われております。

さらに、今年 2 月 24 日、ロシアがウクライナに侵攻するという驚くべきニュースが入ってきました。そして、いまだ西側諸国の制裁措置にもかかわらず、解決のめどは立っておりません。世界経済も、原油や天然ガスの供給が停滞しエネルギーさらに物流面で大きな打撃を受けております。そのためわが国でもガソリン・重油等のエネルギー価格の高騰やロシア・ウクライナが小麦等の最大輸出国であることから、食料等の物価を押し上げ、国民生活を脅かしております。人道的見地からも早期に終結して欲しいものです。

現状、新型コロナウイルスの感染については、緊急事態宣言の発出やまん延防止等重点措置の適用といった政策はとられておりませんので、行動様式は日常に近づいておりますが、前にも書いた通り、まだ予断を許さない状況であることは否めません。国民自体がウィズコロナに慣れてきており、さらにワクチン接種についても 3 回目の接種が遅れており、不安を抱えたままです。

観光、宿泊等のサービス産業関係は、2 年以上 3 密を控えることや、不要不急の外出の自粛が叫ばれていたこともあり、大きな打撃を受けております。幸い、会員制リゾートは、コロナ対策も万全ということで安心して泊まれるとの評価を得ていることや、従来海外に流れていた富裕層の国内回帰もあり、比較的影響が軽微であるとも言われております。また、マイクロツーリズムと言われるホテルの近隣の旅行客を取り込む試みも行われているようです。

こうした中で、協会の果たすべき役割は、新型コロナウイルスの感染拡大の収束が前提になりますが、会員企業の経営安定のための情報の発信をしながら、リゾートクラブ産業の認知度及び信頼度のさらなる向上及び国民の皆様へ、安心感、親しみ、気軽さをもっていただけるような業界のイメージアップ戦略の遂行です。そのため、リゾート業界をさらに活性化していく手段として、次のような具体策を計画しました。

なお令和 4 年度の正会員の年会費は、事業活動の再開を見込み、従来通り納めていただくこととしました。

また、本年度は、2013 年一般社団法人に移行以来実施した公益目的支出計画の最終年度となります。

1 調査研究事業

リゾートライフ調査研究・情報提供

公益目的支出事業の継続事業として、リゾートライフ調査研究・情報提供事業を実施します。これは、国内リゾート地域の歴史、風土、文化及びその魅力等を調査研究し、リゾートクラブシステムを最大活用したその地域の楽しみ方を、ホームページに分かりやすく掲載・紹介していくことです。昨年度は、新型コロナウイルスの感染の隙を見つけて大谷理事と日本ハウス・ホテル&リゾート倶楽部の「森の風 那須」と「四季の館 那須」の見学をしました。その後、新型コロナウイルスの感染再拡大が始まったため調査が遅れておりましたが、1月にホームページに掲載することができました。今年度もまた大谷理事のご協力のもと、新型コロナウイルスの感染拡大の様子を勘案しながら、今まで実施していない会員企業の施設を視察する予定です。

また、「タイムシェア研究会」を一昨年から「リゾート会員権の流通・再利用の現況と展望」のテーマで開催しておりますが、集まることができない現状、開催することが困難な状況が続きますが、重要且解決しなければならない問題を含んでおり、議論を継続していきたいと思っております。

2 研修会・セミナー事業

(1) ホテルスタッフ・管理部門対象の研修会の開催

昨年度もスタッフのキャリアアップを目的とした研修講演会を実施できませんでした。新型コロナウイルスの感染の状況次第ですが、本年度はスタッフ向けの研修会開催を検討します。

(2) 支配人・管理者研修会の開催

昨年度も、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から開催できませんでした。これについても、新型コロナウイルスの感染の状況次第ですが、収束がはかられたところで支配人及び管理者のマネジメント能力、掌握力、社会性を高めるため、研修会を開催する予定です。

3 情報の収集と提供事業

(1) 会員制リゾートクラブ事業者の情報収集

現在国内で営業を継続している会員制リゾートクラブ事業者（会員各社も）についての情報を収集し、様々な資料を収集していくことはもちろん、その集めた資料を、ホームページを使って発信します。

(2) ホームページによる情報の提供

当協会のホームページは、加盟クラブを主体としたリゾートクラブの包括的なホームページという特徴があり、情報媒体としての広告価値が高いものと考えております。大谷理事を中心に更新作業を実施しておりますが、訪問数は着実に増加して

おります。今年度も関係者の意見を集約し、ページ内容を強化するとともに、スマートフォン向けのコンテンツを含め、常に最新性を保つよう随時更新して、魅力ある情報を発信し続けることとします。

(3) 新聞雑誌への広報等

新聞やテレビ・ラジオ等からの取材依頼についても積極的に対応し、会員制リゾートクラブの情報発信を続けていきます。毎年、日本生産性本部の「レジャー白書」への情報提供も続けております。

(4) 共催イベントの開催

新型コロナウイルスの感染拡大により、現状ほとんど開催は困難な状況です。しかしながら、感染状況次第となりますが、新たなリゾートのファンを呼び込むためにも開催できることを願っています。

4 消費者相談事業

公益目的支出計画の継続事業として、消費者情報提供事業を実施します。

事業の内容としては、

- ① 会員制リゾートクラブへの入会に関する注意点の照会・相談対応
- ② 会員権の売買や譲渡に関する相談対応
- ③ 個別のリゾート事業者についての照会・相談対応
- ④ リゾート会員権に関する相談の中から、ホームページを通じてトラブル情報の発信

また、会員企業各社や消費者庁の国民生活センターとも情報を共有し、悪質な業者の排除に努めていきます。

5 相互利用事業

リゾネット事業

リゾネットは、協会加盟クラブの差別化策として、会員に大変好評で有意義なものであり、会員との結びつきを強化する事業となっております。令和4年度は、關エンゼルのコンゼルフォレスト那須白河とエンゼルグランディア越後中里及びオリビアン小豆島が減り、26施設（-3）で始まりました。今後リゾネット協議会での提案を踏まえた改善策の実現、ホームページ活用による施設ごとのタイムリーな情報提供により、さらに利用の促進を図る計画です。早く、新型コロナウイルスの感染前の水準に戻って欲しいものです。

6 その他重点事項

(1) 会員組織の拡大策

業界全体からみれば正会員については、新規に参入する企業も少なく、さらなる会員の増強は厳しい状況です。

その中で、未加入の健全な会員制リゾート事業者へのアプローチを続けることはもちろん、会員以外の会社に対して研修会等の行事に門戸を広げるなどの方策により、正会員、賛助会員の新規入会促進への活動を推進します。

(2) 委員会機能の強化

時代の流れが速く、種々の課題が発生することに備え、合同委員会や各種協議会の機能を強化し、それらにスピーディーに対応できる体制を構築します。

令和4年度（第10期）収支予算書

自 令和4年4月1日
至 令和5年3月31日

東京都渋谷区代々木4丁目36番19号

リゾートトラスト東京ビル3階

一般社団法人日本リゾートクラブ協会

会 長 伊 藤 與 朗

令和4年度予算書

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

(単位:円)

(収入の部)

科目	内訳	予算額	前年度予算額	差異
1.入会金収入		150,000	150,000	0
	正会員	100,000	100,000	0
	賛助会員	50,000	50,000	0
2.会費収入		7,750,000	5,450,000	2,300,000
	正会員	5,100,000	2,600,000	2,500,000
	賛助会員	2,650,000	2,850,000	△ 200,000
3.事業収入		1,750,000	1,780,000	△ 30,000
	調査・研究	0	0	0
	研修会・セミナー	500,000	500,000	0
	情報収集・提供	500,000	500,000	0
	倫理審査	0	0	0
	相互利用	750,000	780,000	△ 30,000
	消費者相談	0	0	0
4.その他収入		1,770,500	1,818,100	△ 47,600
	受取利息	500	500	0
	雑収入	0	0	0
	公益事業推進基金から	1,770,000	1,817,600	△ 47,600
収入合計		11,420,500	9,198,100	2,222,400

(支出の部)

科目	内訳	予算額	前年度予算額	差額
1.事業費		6,390,000	6,190,000	200,000
	調査・研究	1,500,000	1,500,000	0
	研修会・セミナー	1,000,000	1,000,000	0
	情報収集・提供	2,000,000	1,800,000	200,000
	倫理審査	0	0	0
	相互利用	1,400,000	1,400,000	0
	消費者相談	490,000	490,000	0
2.管理費		3,209,000	2,729,000	480,000
	給与・手当	1,080,000	1,080,000	0
	法定福利費	0	0	0
	会議費	700,000	350,000	350,000
	旅費交通費	250,000	250,000	0
	通信費	35,000	35,000	0
	備品費	20,000	20,000	0
	消耗品費	100,000	60,000	40,000
	印刷費	5,000	5,000	0
	新聞図書費	5,000	5,000	0
	水道光熱費	14,000	14,000	0
	賃借料	420,000	330,000	90,000
	支払手数料	160,000	160,000	0
	諸謝費	0	0	0
	租税公課	70,000	70,000	0
	情報交流費	50,000	50,000	0
	諸雑費	300,000	300,000	0
3.予備費		200,000	200,000	0
4.公益事業推進基金		0	0	0
支出合計		9,799,000	9,119,000	680,000
当期収支差額		1,621,500	79,100	1,542,400
前期繰越収支差額		14,740,672	13,630,952	1,109,720
次期繰越収支差額		16,362,172	13,710,052	2,652,120

令和4年度収支予算書（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

I 一般正味財産増減の部

科 目		当 年 度	前 年 度	増 減
大 科 目	中 科 目			
【経常収益】				
受取入会金		150,000	150,000	0
	正 会 員	100,000	100,000	0
	賛 助 会 員	50,000	50,000	0
受 取 会 費		7,750,000	5,450,000	2,300,000
	正 会 員	5,100,000	2,600,000	2,500,000
	賛 助 会 員	2,650,000	2,850,000	△ 200,000
事 業 収 益		1,750,000	1,780,000	△ 30,000
	調 査・研 究	0	0	0
	研 修 会・セ ミ ナ ー	500,000	500,000	0
	情 報 収 集・提 供	500,000	500,000	0
	倫 理 審 査	0	0	0
	相 互 利 用	750,000	780,000	△ 30,000
	消 費 者 相 談	0	0	0
雑 収 益		1,770,500	1,818,100	△ 47,600
	受 取 利 息	500	500	0
	雑 収 入	1,770,000	1,817,600	△ 47,600
経常収益計		11,420,500	9,198,100	2,222,400
【経常費用】				
事 業 費		6,390,000	6,190,000	200,000
	給 与 手 当	2,520,000	2,520,000	0
	法 定 福 利 費	0	0	0
	旅 費 交 通 費	700,000	700,000	0
	通 信 費	300,000	100,000	200,000
	備 品 費	80,000	80,000	0
	消 耗 品 費	25,000	25,000	0
	会 議 費	600,000	600,000	0
	印 刷 費	900,000	900,000	0
	水 道 光 熱 費	30,000	30,000	0
	賃 借 料	745,000	745,000	0
	諸 謝 費	250,000	250,000	0
	諸 雑 費	240,000	240,000	0
管 理 費		3,209,000	2,729,000	480,000
	給 与・手 当	1,080,000	1,080,000	0
	法 定 福 利 費	0	0	0
	会 議 費	700,000	350,000	350,000
	旅 費 交 通 費	250,000	250,000	0
	通 信 費	35,000	35,000	0
	備 品 費	20,000	20,000	0
	消 耗 品 費	100,000	60,000	40,000
	印 刷 費	5,000	5,000	0
	新 聞 図 書 費	5,000	5,000	0
	水 道 光 熱 費	14,000	14,000	0
	賃 借 料	420,000	330,000	90,000
	支 払 手 数 料	160,000	160,000	0
	諸 謝 費	0	0	0
	租 税 公 課	70,000	70,000	0
	情 報 交 流 費	50,000	50,000	0
	諸 会 費	0	0	0
	諸 雑 費	300,000	300,000	0
予 備 費		200,000	200,000	0
経 常 費 用 計		9,799,000	9,119,000	680,000
経 常 増 減 額		1,621,500	79,100	1,542,400
経 常 外 増 減 額		△ 1,770,000	△ 1,817,600	47,600
一 般 正 味 財 産 増 減 額		△ 148,500	△ 1,738,500	1,590,000
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高		17,058,751	17,766,686	△ 707,935
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高		16,910,251	16,028,186	882,065

II 指定正味財産増減の部

当期指定正味財産増減額		0	0	0
指定正味財産期首残高		0	0	0
指定正味財産期末残高		0	0	0

III 正味財産期末残高		16,910,251	16,028,186	882,065
--------------	--	------------	------------	---------

■ 正 会 員 名 簿 (令和4年3月31日現在)

ウィンダム・デスティネーションズ・ジャパン(株) (サンダンス・リゾートクラブ)		
代表取締役	Barry Robinson 〒102-0073 千代田区九段北 4-1-9 市ヶ谷MSビル	03-5212-7400
(株)鴨川グランドホテル (鴨川リゾートクラブ)		
代表取締役社長	鈴木 健史 〒296-0044 鴨川市広場 839-13	04-7094-5581
紀州鉄道(株) (紀鉄クラブ)		
代表取締役社長	中川 源行 〒103-0015 中央区日本橋箱崎町 1-7 千歳ビル	03-3230-2261
(株)セラヴィリゾート泉郷 (オアシスクラブ)		
代表取締役社長	浜口 憲一 〒170-0005 豊島区南大塚 2-45-8 ニッセイ大塚駅前ビル	03-5981-2301
(株)ダイヤモンドソサエティ (ダイヤモンドホテルメンバーズ)		
代表取締役会長	宗澤 政宏 〒540-0018 大阪市中央区粉川町 2-9	06-6765-1530
東京信用販売(株) (東京レジャーライフクラブ)		
代表取締役社長	川名幸太郎 〒414-0002 静岡県伊東市湯川 4-2-15 伊東パウル	0557-36-6181
株式会社日本ハウス・ホテル&リゾート倶楽部 (みやび倶楽部)		
代表取締役社長	池辺厚幸 〒102-0072 千代田区飯田橋 4-3-8 日本ハウスHD 飯田橋ビル	03-6265-6181
(株)萬代 (オテル・ド・マロニエクラブ)		
代表取締役	枅本 雅尚 〒463-0070 名古屋市守山区新守山 3503	052-792-1100
Hilton Grand Vacations Japan 合同会社		
代表社員	Jeffrey Bernier 〒160-6108 新宿区西新宿 8-17-1 住友不動産ビル	03-6866-4870
(株)マイステイズ・ホテル・マネジメント (エピナールリゾート クラブ)		
代表取締役	代田 量一 〒100-0032 港区六本木 6-2-31 六本木ビルズ・ノースビル14階	03-6430-6830
(株)マグナ.リゾート (マグナ.リゾートクラブ)		
代表取締役社長	條 勇二郎 〒431-1424 浜松市北区三ヶ日町下尾奈 200	053-524-1311
リゾートトラスト(株) (プライベートリゾートエクシブ)		
代表取締役	伊藤 與朗 〒460-0005 名古屋市中区東桜 2-18-31	052-933-6000

■ 賛助会員名簿（令和4年3月31日現在）

あいおいニッセイ同和損害保険㈱	453-6116	名古屋市中村区平池町4-60-12ｸﾞｰﾊﾞｰｽﾀｼﾞｱｰﾄ16F	052-563-9433
アスレ㈱	501-3203	岐阜県関市神野116	0575-20-2033
㈱ALIVE	424-0844	静岡市清水区西高町12-29	054-355-4001
㈱e会員権	231-0014	横浜市中区常盤町3-21 アライアンス関内ビル	045-222-6521
㈱N.F.C	453-6127	名古屋市中村区平池町4-60-12ｸﾞｰﾊﾞｰｽﾀｼﾞｱｰﾄ27F	052-583-6871
鹿島建設㈱	107-8388	東京都港区元赤坂1-3-1	03-6438-2272
㈱観光企画設計社	105-0004	東京都港区新橋6-17-19 新御成門ビル6階	03-6430-9011
㈱きんでん	531-0074	大阪市北区本庄東2-3-41	06-6375-6010
サッポロビール㈱	150-8522	東京都渋谷区恵比寿4-20-1	03-5475-0626
㈱サンゲン	140-8611	東京都品川区東品川3-20-17	03-3474-1245
サントリーコーポレートビジネス㈱	450-6640	名古屋市中村区名駅1-1-3 JRｸﾞｰﾄﾞﾀワ-40F	052-583-6130
住商インテリアインターナショナル㈱	101-0054	東京都千代田区神田錦町3-26 一ツ橋SITE#1階	03-5577-1761
㈱ダイヤモンドSR	542-0081	大阪市中央区南船場1-3-27 NII南船場ビル5D	06-6575-7850
(一社) 日中経済文化交流協会	135-0007	東京都江東区新大橋1-12-11 安川ビル4F	03-5638-2125
㈱日本経済広告社	101-8323	東京都千代田区神田小川町2-10	03-5282-8000
㈱バンインテリアプロダクト	110-0016	東京都台東区台東4-8-5 T&T御徒町ビル	03-5818-6941
㈱マイリゾート	420-0847	静岡市葵区西千代田町10-4	054-247-7771
㈱マザーブレイン	151-0061	東京都渋谷区初台1-51-1 初台センタービル619	03-6276-0863
㈱丸八真綿	433-8124	静岡県浜松市中区泉3-1-43 D02F	053-485-4108
㈱安井建築設計事務所	540-0034	大阪市中央区島町2-4-7	06-6943-1371
㈱ヤマグチ企画	425-0075	橈津市西焼津15-15	054-631-6037
㈱悠久	547-0014	大阪市平野区長吉川辺3-9-18	06-4305-7030
リゾート・ステーション㈱	103-0027	東京都中央区日本橋3-3-12 E-1ビル6F	03-3271-5233
㈱リゾートライブ	460-0002	名古屋市中区丸の内2-19-25MS桜通ビル1F	052-222-0246
(株)ワタベ印刷所	961-0936	白河市大工町18	0248-22-3241